

The Expert



平成28年3月10日発行

● 総合周産期母子医療センター(新生児科) 荒井 博子 助教(平成7年・東邦大学卒)

健やかな育児をめざして

周産期母子医療センター

大森病院2号館8階にある総合周産期母子医療センターは、母体胎児集中治療室(MFICU)という妊婦さんの病棟と、新生児集中治療室(NICU)、回復期治療室(GCU)という新生児の病棟があります。

産婦人科の先生方と連携して、早産児・低出生体重児、出生後に状態が悪くなった赤ちゃん、生まれつき病気をを持った赤ちゃん(先天性心疾患、先天奇形等を持つ赤ちゃん)の診療に携わっています。医師の他にも助産師、看護師(新生児集中ケア認定看護師含む)、専属の臨床心理士、聴覚スクリーニング検査技師、病棟薬剤師、栄養士、臨床工学技士、理学療法士、退院調整看護師、医療ソーシャルワーカーなど多くの職種スタッフが病気と闘う赤ちゃん達と関わっているのが特徴です。入院中の赤ちゃん達やお母さんをはじめとすご家族から教えていただくことも多い毎日です。当院周産期センターは都内で最も早く1981年2月に開設され、途中小さなりフォームを経ながら歴史を重ねてまいりました。施設の老朽化が進み、入院患者数も増えてきたため、東京都の周産期医療整備補助を受け2016年1月より改修工事を実施しました。工事期間中は入院中の患者さんをはじめ、近隣の産婦人科医院や多くの医療機関に対しても入院制限等でご迷惑をおかけしました。2016年春からはNICU15床、GCU18床での運用となります。

より一層、急性期重症疾患症例の受け入れについてスタッフ一同、努力していきたいと思っております。

新生児フォローアップ外来

周産期センターを卒業されたお子さんの発育・発達支援を私たち新生児科医が行っています。入院中だけでなく、退院後も手厚いサポートを目指して、臨床心理士の協力のもと、キーエイジでの発達評価を行い、育児面での相談、就学相談等のお手伝いが出来るよう心掛けています。なお、里帰り分娩や転居等により他院で出生され、退院後のフォローアップが必要なお子さんについても対応しておりますので、是非ご相談ください。

病児だけでなく、正常新生児室からお家に帰った赤ちゃんの1か月健診も小児科医師と協力して行っています。育児が初めてのお母さんも、経験者のお母さんも、それぞれに新しいご家族となる赤ちゃんを迎えてお家で過ごす最初の1か月は、日々の成長を喜ぶ一方で、いろいろな心配も心に抱えながら頑張っておられます。不安を少しでも軽減し、健やかな育児を進められるようお手伝いできればと思っています。

当院から退院されたお子さん達も、予防接種や乳幼児健診、また一次診療などで地域診療所の先生方にお世話になっています。医療機関は公的福祉とともに、地域子ども達やご家族を病診連携により多面的に支える使命があるのではないかと考えています。

今後ともご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。

● 診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。
診療日・診療時間をご案内いたします。

● 診療日

荒井 博子 助教：火曜日午後
金曜日午後(第2・4週)

医療機関専用電話 **パートナー**
03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 8:30~17:00、土曜 8:30~14:00)
(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)



東邦大学医療センター大森病院
Toho University Omori Medical Center
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1
03-3762-4151 (代表)
<http://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>
発行元：地域医療支援センター